

県立図書館通信

令和3年7月号
(令和3年7月5日発行)



佐賀県立図書館の蔵書の中から、高校生にお薦めの本を紹介します。

新刊図書



『ジュリーの世界』

増山 実/著
ポプラ社/発行
資料コード 116246562

木戸は高校卒業後、警察官となり京都の町に来た。そこには、「河原町のジュリー」と呼ばれる有名なホームレスがいた。町を悠々と歩く彼はホームレスのなかでも異色の存在だった。ジュリーはなぜこの場所でホームレスとして生きているのか。。その理由にはジュリーが生きた時代が関係していた。



『ろうの両親からうまれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を歩き来して考えた30のこと』

五十嵐 大/著
幻冬舎/発行
資料コード 116259763

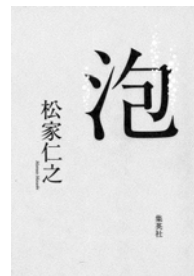
「コーダ」とは、聴こえない親の元で育った、聴こえる子どもたちの総称。葛藤を抱え生きてきた著者が、「コーダ」という言葉と出会い、親とどう向き合うか、「対等」とは何かを綴る。



『イノセント・ツーリング』

湊 ナオ/著
日経BP日本経済新聞出版本部/発行
資料コード 116264789

若くして命を落とした親友とその夫は大学時代のツーリング仲間だった。その息子から誘われツーリングにいく真瀬。なぜ息子がツーリングにいきたがるのか、親友との約束を思い出しながら、それぞれの想いが浮かび上がる。



『泡』

松家 仁之/著
集英社/発行
資料コード 116246091

高校2年生になり不登校になった薫は、夏休み期間、親戚の中でおしゃべりな遊び人とみなされていた、大叔父・兼定のもとで暮らすことになった。大叔父は復員後、知り合いのいない土地でジャズ喫茶を営んでいた。薫は店を手伝いながら生きていくための何かを掴みはじめる。

県内トップのオススメ児童書展示

「子ども佐賀新聞週間ページくん」に掲載している「みんなで読もう オススメ本」で紹介した第1回から第6回までを県立図書館の展示ホールにて展示しています。

「オススメ本」紹介者

- 〈第1回〉 令和2年6月
山口 祥義氏 (佐賀県知事)
- 〈第2回〉 令和2年7月
小林 万里子氏 (佐賀県副知事)
- 〈第3回〉 令和2年9月
白根 恵子氏 (佐賀女子短期大学名誉教授)
- 〈第4回〉 令和2年11月
豊田 陽平氏 (サッカーJ1 サガン鳥栖選手)
- 〈第5回〉 令和3年1月
竹下 真由氏
(竹下製菓株式会社 代表取締役社長)
- 〈第6回〉 令和3年3月
木村 隆夫氏
(木村情報技術株式会社 代表取締役社長)



第1回 山口佐賀県知事の新聞記事

展示物の貸出を試験的に行っています。
(内容：オススメ本、POP、新聞記事)
詳細は担当までお問合せください。

～～展示風景～～



展示期間は7月1日(木)から7月27日(火)まで

■編集■ 佐賀県立図書館 司書ネットワーク課 図書館・司書支援担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<https://www.tosyo-saga.jp/>

お問い合わせはこちらまで